

災害安全（震災）中学校 第2学年 防災教育年間指導計画（例）

安全教育目標

安全な生活を実現させるためのことがらを理解し、保護者や地域と、関わりながら、学校内外の安全確保に努め、自他の安全を守る行動ができる生徒の育成。

防災教育目標 第2学年（災害安全）

災害の基本的な特徴や様々な危険を理解するとともに、地域の避難場所や家族との連絡方法などの知識を活用し、適切に対応することができる。

〔安全上の状況：課題〕

- ・南海トラフ地震が発生した際の想定は、最大震度6強、2分30秒から3分間の揺れが続くとされている。また、学校自体は津波の想定浸水域から外れているが、浸水域に自宅がある生徒や、浸水域を通過して登下校している生徒も少なくない。
- ・校区が広く、自宅が沿岸地域や土砂災害の危険のある地域にある生徒も多い。

各教科

社会科

地理的分野

- 【日本の様々な地域】
- ・地域調査の手法
 - ・日本の地域的特色と地域区分
 - ・日本の諸地域
 - ・地域の在り方

保健体育科

保健分野

- 【いざという時、助ける人になるために ～応急手当の意義と方法～ 7月】
- ・応急手当としての心肺蘇生法や止血法の知識、方法について、実習を通して理解する。（高知県安全教育プログラム）

理科

第2分野

【気象と変化】

気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する知識・技能を身に付けること。

- ・気象観測
- ・天気の変化
- ・日本の気象
- ・自然の恵みと気象災害
- ・自然と人間

第2分野

【大地の成り立ちと変化】

大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象と関連付けながら、次のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する知識・技能を身に付けること。

- ・身近な地形や地層、岩石の観察
- ・地層の重なりと過去の様子
- ・火山と地震
- ・自然の恵みと火山災害・地震災害

総合的な学習の時間

【地域防災リーフレットを作ろう 全20時間】

津波被害に対する住民の目から見た防災リーフレットづくりを通して、防災に対する知識・技能を身につけ、災害の際に自分のとるべき行動を的確に判断し行動するとともに、防災への意識を向上させ、自分の命を守り、自分たちも地域の一員として地域を守るという意識を育成する。

【課題設定】・防災学習のゴールの設定を行う。今後の計画をたてる。

【情報収集】・専門家からの情報収集を行う。地域のフィールドワークを行う。

【整理分析】・自分達のテーマに沿った防災リーフレットを作成する。

特別活動

学校行事

【1学期】

- ・地震津波避難訓練・修学旅行
- ・防災オリエンテーリング
- ・心肺蘇生（全学年）
- ・中学校区防災訓練

【2学期】

- ・シェイクアウト訓練
- ・火災避難訓練
- ・地震津波中学校区合同避難訓練（津波防災の日）

【3学期】

- ・防災学習～中学生の私たちにできることは何か考える（各学年・生徒会から発表）

学級活動

【修学旅行先で地震発生！その時、あなたは？～いつ、どんなときでも命を守る～ 4月】

- ・日頃の学校生活と違う場面で、地震等自然災害に遭遇した際の安全確保について理解を深める。（高知県安全教育プログラム）

【「警報」「注意報」の違いって？～情報の正しい理解の活用 6月】

- ・防災に関する情報の入手方法を知るとともに、防災に関する情報を正しく理解することの重要性を理解する。（高知県安全教育プログラム）

小学校での防災教育の基礎